

**学校教育目標**  
 集団の中で自らを律し  
 目標の実現に向け努力し  
 自らを高めようとする姿勢の育成

# 塚口中だより

〒661-0003 尼崎市富松町4丁目3番1号 (TEL)06-6421-0620 <http://www.ama-net.ed.jp/school/J15/index.htm>



新年明けましておめでとうございます。旧年中は、保護者、地域の皆様には色々とご支援とご協力をいただきまして、本校の教育を充実させることができました。心より感謝申し上げますとともに、本年も塚口中の教育のために学校と連携し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3学期がスタートしました。この3ヶ月間は、平成25年度のまとめの意味を持つ大事な期間でもあります。1年間の集大成であり、次の学年に上がる準備の時期です。

特に3年生にとっては、中学校を卒業して進学や就職という人生の節目を迎え、進路を決定するという大切な時期になります「陸上競技の走者に例えるなら、最終コーナーを曲がりきって最後の直線に入ったところでしょうか。3年生の生徒にとって、最後に待ち受けているハードルの高さは、それぞれ違うことではありますが、第一希望の進路に向けて最大限努力をし、有終の美を飾ってほしいものです。

また2年生は、このまとめの期間に学年行事で百人一首大会や校外学習が行われ、さらに3学年の最大行事「修学旅行」に向けての準備が始まります。

「自分たちの手で、自分たちの旅をつくりあげる」思い出に残る旅を自分たちの力で・・・そんな気持ちで取り組んでくれることを願っています。

そして1年生は、1月に学年行事で百人一首大会を行い、3月には日本の伝統文化である「能」の学習をおこないます。それぞれの学年、そして生徒たちが実り多き1年になることを大いに期待したいです。

さて、本校の耐震化工事も進み、運動場は工事フェンスで囲まれ、授業や部活動に不便をかけています。工事の音、ホコリ、工事車両の通行等は気になります。工事現場の方には安全を心がけ工事をお願いしていますが、我々も危険場所への立ち入りや、周辺道路の通行、安全監視員の方の指示等、注意しながら生活することが必要です。

3学期、学校では新入生を迎える準備も始まります。1、2年生にとっては新しい仲間を迎えることになるわけです。すでに保護者の方々もお気付きかと思いますが、4月からの1年間で中堅学年、最上級学年になるための自覚が知らず知らず育っています。しかし、その反面、慣れからくる気の緩みも見えてきて心配になることもあります。それは服装や生活リズムの乱れ等ではっきりと表れることもあります。生徒が前向きな気持ちや姿勢を持って、進級することを願うのは我々教師も同じです。

ぜひ、皆で励まし、協力しながら、一日一日の生活を大切に過ごしていくよう支援していきましょう。

本年も宜しくお願いいたします。



## 第23回兵庫県アンサンブルコンテスト 東阪神地区大会

12月28日 いたみホールでは各校を代表するパートの熱い演奏がおこなわれました。本校からはフルート3重奏・サクソ5重奏・金管8重奏・クラリネット8重奏の4チームが参加しました。結果は次の通りです。

- |           |          |
|-----------|----------|
| フルート3重奏   | 金賞・県大会代表 |
| 金管8重奏     | 銀賞       |
| サクソ5重奏    | 金賞       |
| クラリネット8重奏 | 金賞       |



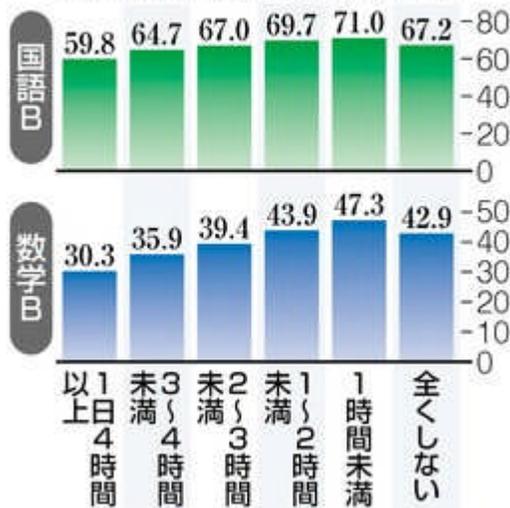
※フルート3重奏は1月25日(土)の県大会に東阪神地区代表として参加します。

- ≪ 8日 水 平常授業 専門委員会
- 1月の予定
- 14日 火 私学願書受け取り 3年 逆時間割
- 17日 金 1.17防災訓練
- 18日 土 土曜参観 百人一首大会・3年球技大会
- 20日 月 代休
- 21日 火 月曜日の時間割
- ≧ 23日 木 わくわくオーケストラ 1年 校外学習 2年
- 24日 木 私立高校一斉出願 3年

※1月は全校・各学年での行事が計画されています。また、インフルエンザが猛威をふるう時期でもあります。手洗い・うがいを心がけ、体調管理を心がけて下さい。

## インターネットの使用を見合わせる 生徒が傾向として成績良好!

インターネットの使用時間別の 中学3年生の平均正答率(%)



インターネットを1日4時間以上する小中学生の成績は下がる。文部科学省が12月25日公表した全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の分析結果で、そんな傾向が浮き彫りになりました。スマートフォンや携帯端末が普及し、深刻

なネット依存は社会問題化しており、あらためて子どもとネットの関わり方に一石を投じた形となりました。一方で「全くしない」と答えた中学生の平均正答率は「1~2時間未満」の生徒よりも低く、2時間程度の利用なら、学力に影響しないことも確認されました。テレビについても、1時間を超えて視聴すると比例して成績は下がったが、逆に全く見ない子どもは1時間未満視聴する子どもより成績は低い傾向があらわれました。(東京新聞より抜粋)

全国学力・学習状況調査結果から